

かわいいだけじゃないカモ!? 被害額 1 億円以上 カモなどの鳥類による農作物被害が増加しています

日常生活で目にするスズメやカラス、冬鳥として飛来してくるカモなど八代地域には多くの野生鳥類が生息していますが、一方で野生鳥類が農作物を食べてしまう被害が急増し、農家を悩ませています。市では、鳥類による農作物被害の抑制と被害防止対策の推進に取り組んでいます。

問合せ 農業振興課 ☎33-8751

鳥の種類

オオバン

黒い体に白いおでこがトレードマーク。植物の葉や小動物などを食べる。くちばしが鋭く、不織布を突き破って食害する。

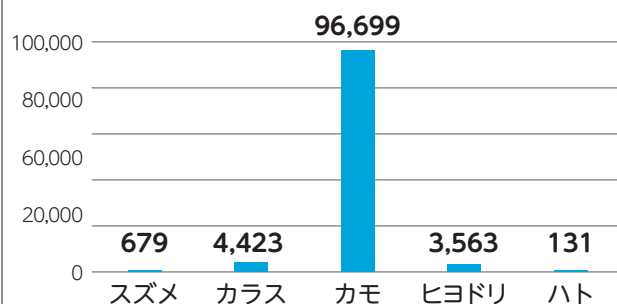
ヒドリガモ

植物質を好み草本の新葉や草の葉、茎、種子などのほか、海藻類を食べる。

被害の状況

10月から3月にかけて被害が発生しています。

令和3年度 八代市野生鳥獣による
種類別被害金額
(単位：千円)



現場の声



ブロッコリー農家 石田 彰さん(鏡町北新地)

鏡地区は海も近く、カモが生息しやすいので、一度エサ場として狙われるとほぼ毎年食べられてしまいます。最近はブロッコリー、キャベツ、レタス、イグサなど被害作物も拡大していて、いつ、どこかの畑が被害を受けるか分かりません。今後は地域全体の問題として予防や対策を考える必要があると思います。



▲外側の葉ごとカモがつついて食べたキャベツ

八代地域農産物鳥類被害 防止対策連絡協議会を発足

令和3年3月に県・市・氷川町・JAやつしろなどが連携して、「八代地域農産物鳥類被害防止対策連絡協議会」を発足させました。

【主な取り組み】

- ・アンケート調査を基に八代管内の被害マップを作成
- ・地域での飛来情報を共有化する関係機関ネットワークの構築
- ・先進地事例の調査 など

県・市が支援している事業

(県) えづけSTOP! 鳥獣被害対策事業

(市) 八代市農作物有害鳥獣防護柵設置事業

生産者の皆さんへ 農作物鳥類対策のポイント

- ① 鳥の種類、侵入経路、被害の傾向などを把握する
- ② カモ類が飛来する前(9月)に早めの対策を実施し、初期被害を抑制する
- ③ 毎年同じ対策では「慣れ」が生じるため、追い払い・テグスの設置・吹流しの設置など複数の対策を組み合わせる
- ④ 個別に対策をしても、周辺のほ場が被害に遭うため、環境改善や侵入防止対策など地域ぐるみで対策する



水路テグスの
設置作業